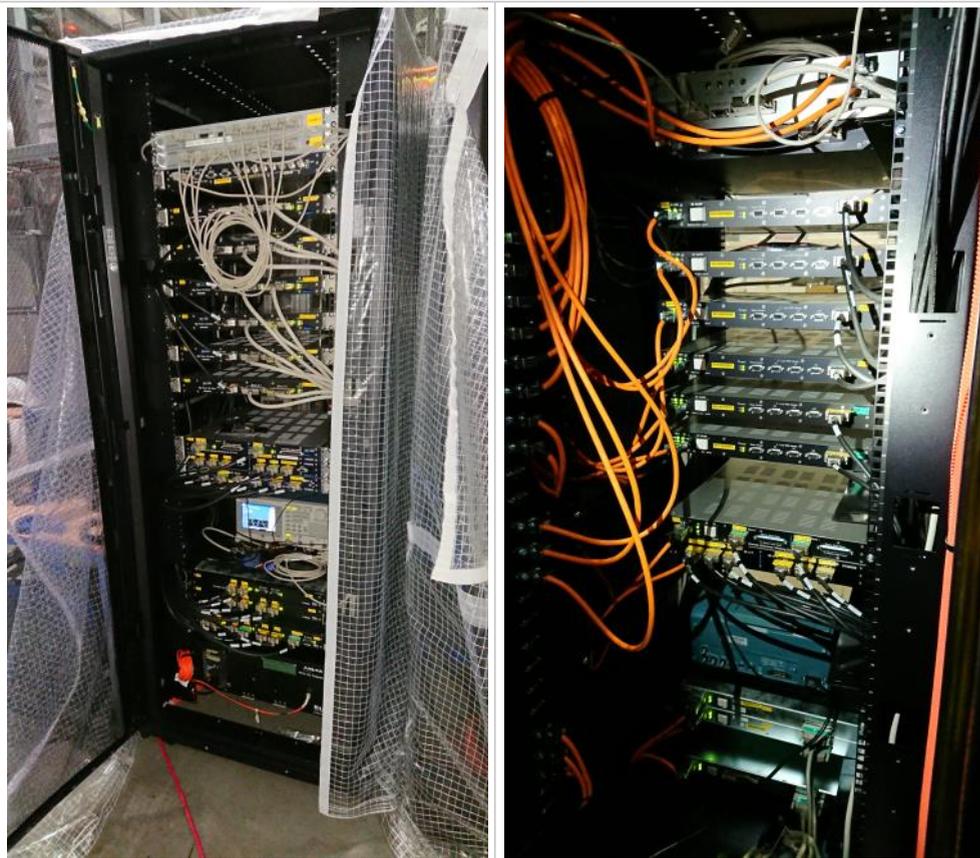


# PRM/PR3 Rack調査結果

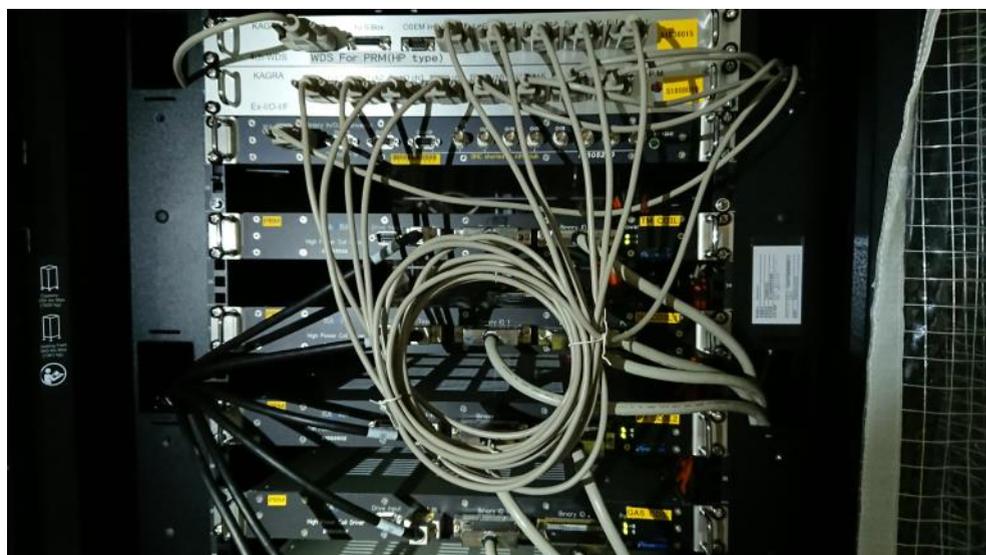
2018年5月25日

## PRM Rack

- 正面/背面



- WDS



- ケーブルを巻いて留めてあるが、垂れ下がっておりコネクタにテンションがかかる。
  - コネクタにテンションがかからないようラックのフレームに固定するか、短いケーブルに変えるべき。

- Function Generator



- トレーにfunction generatorが乗せてあり、chassisとの間に隙間も設けられていて、良い。
- Universal Whitening Filter w/ DC Power



- なるべく通気孔は塞がない。
- AA/AI



- 隙間もあけてあり、コネクタにテンションがかからないようにケーブルもまとめられていて、良い。
- Rackサイド



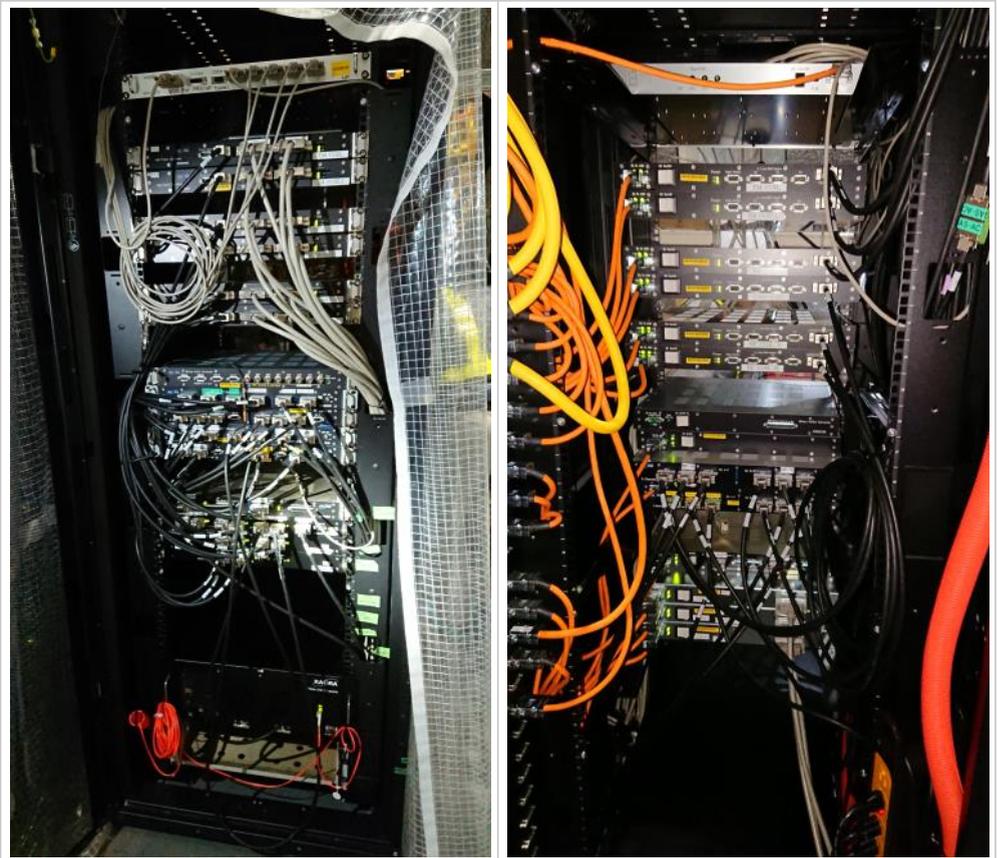
- Rack下



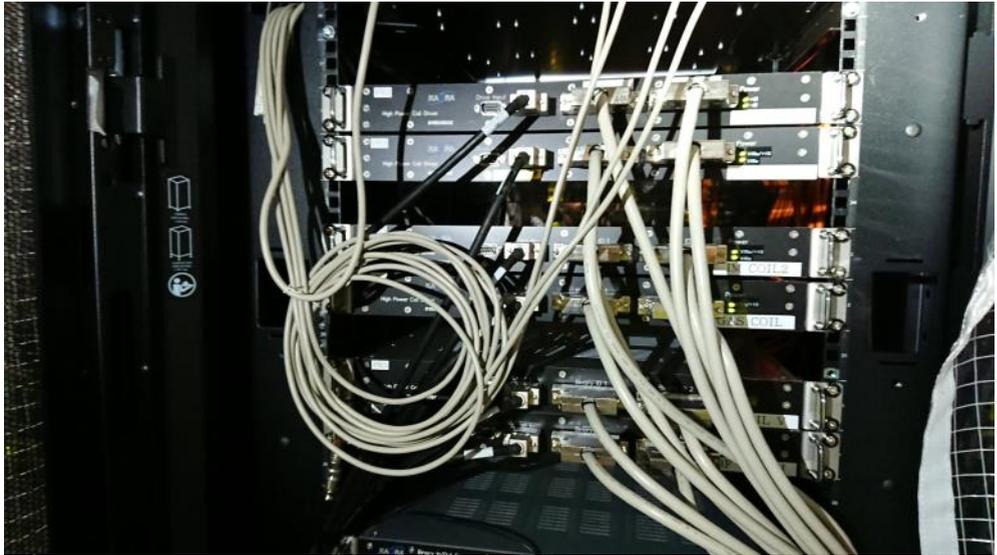
- I/O chassisのconnectorが無造作に転がっているが、湿気や水の点で心配。

## PR3 Rack

- 正面/背面



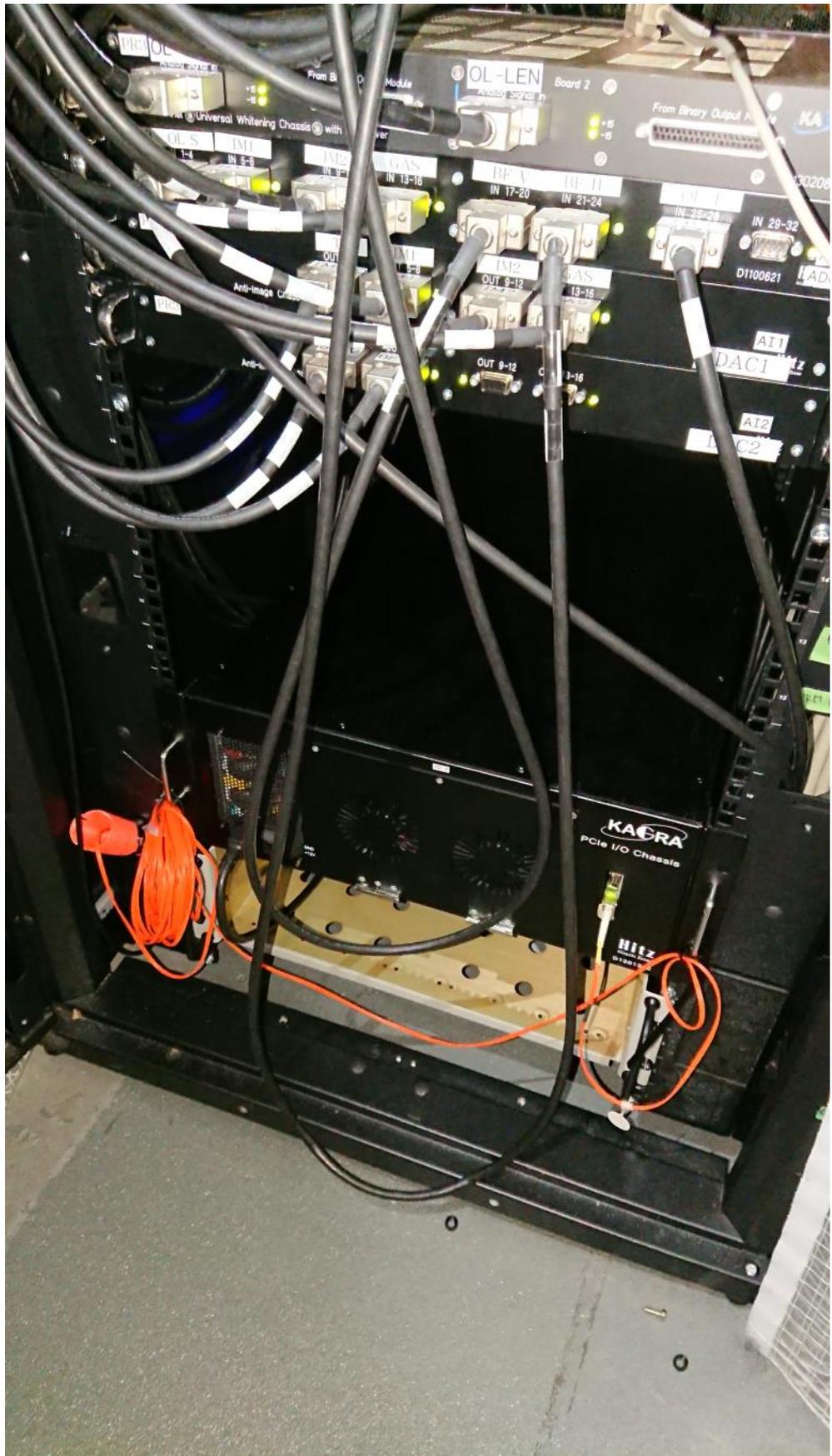
- WDS



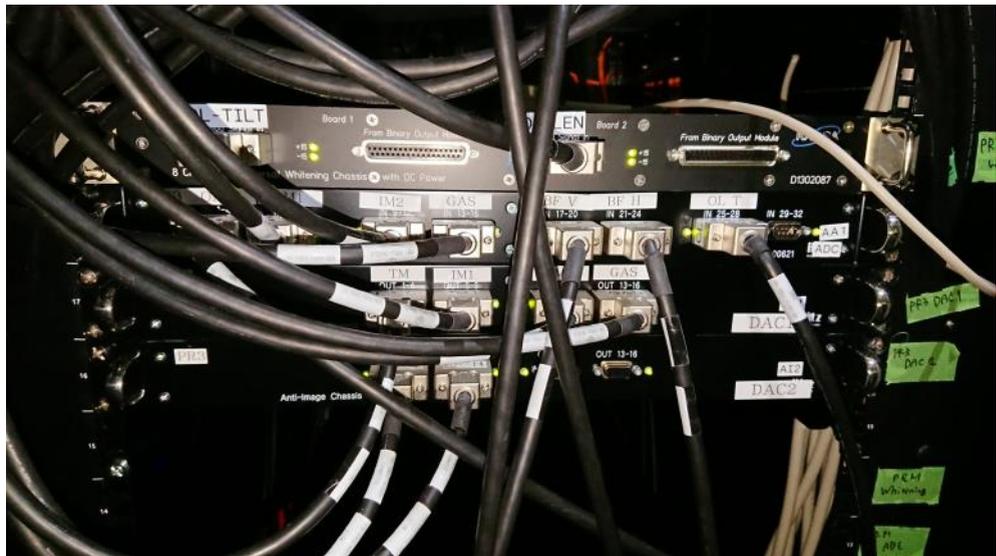
- ケーブルの重みでコネクタにテンションがかかっている。
- LVDT Driver



- LemoのclockはinとoutとあるのでT-connectorで分岐しなくても良いのでは?
- Cabling



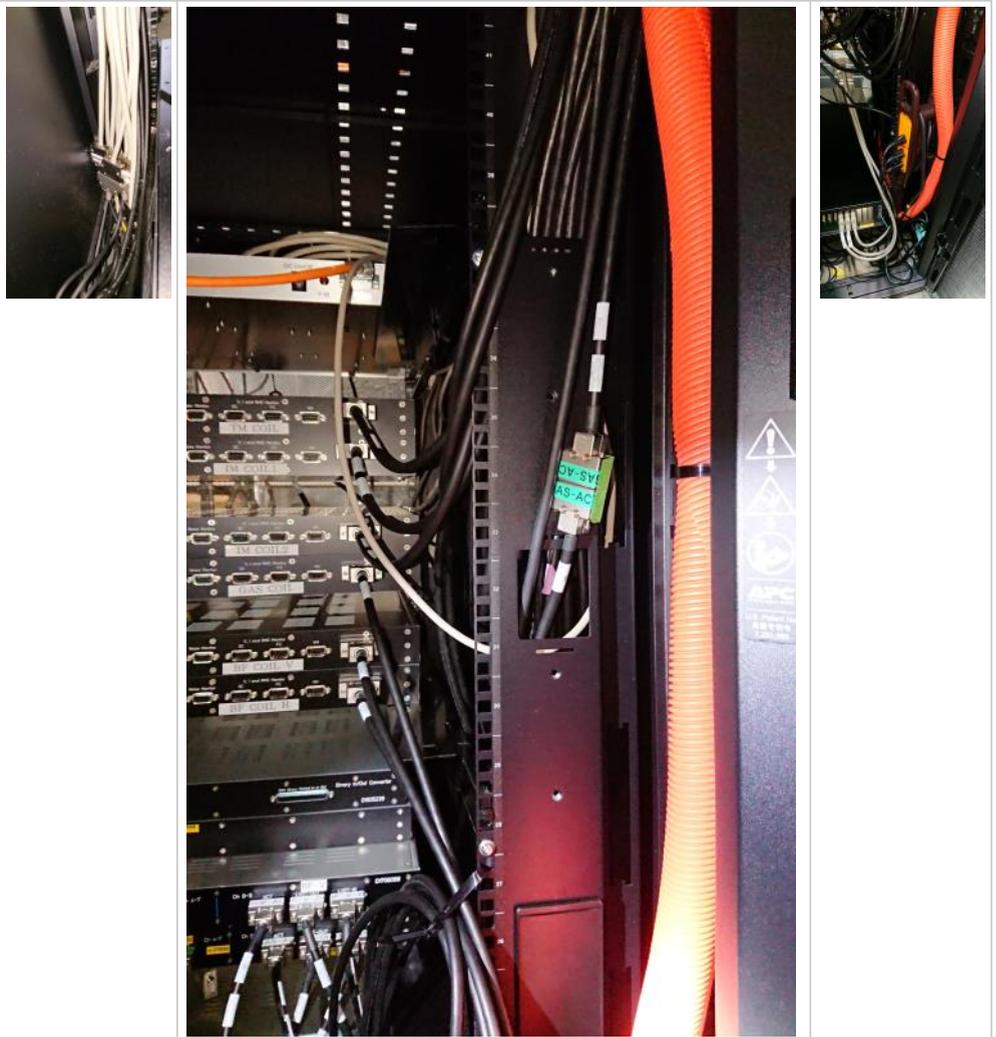
- 長いケーブルが垂れ下がっていてconnectorにテンションがかかっている。
- Whitening/AA/AI/AI



- 詰めすぎ。発熱の大きい回路なので隙間をあける。
- Chassisの固定

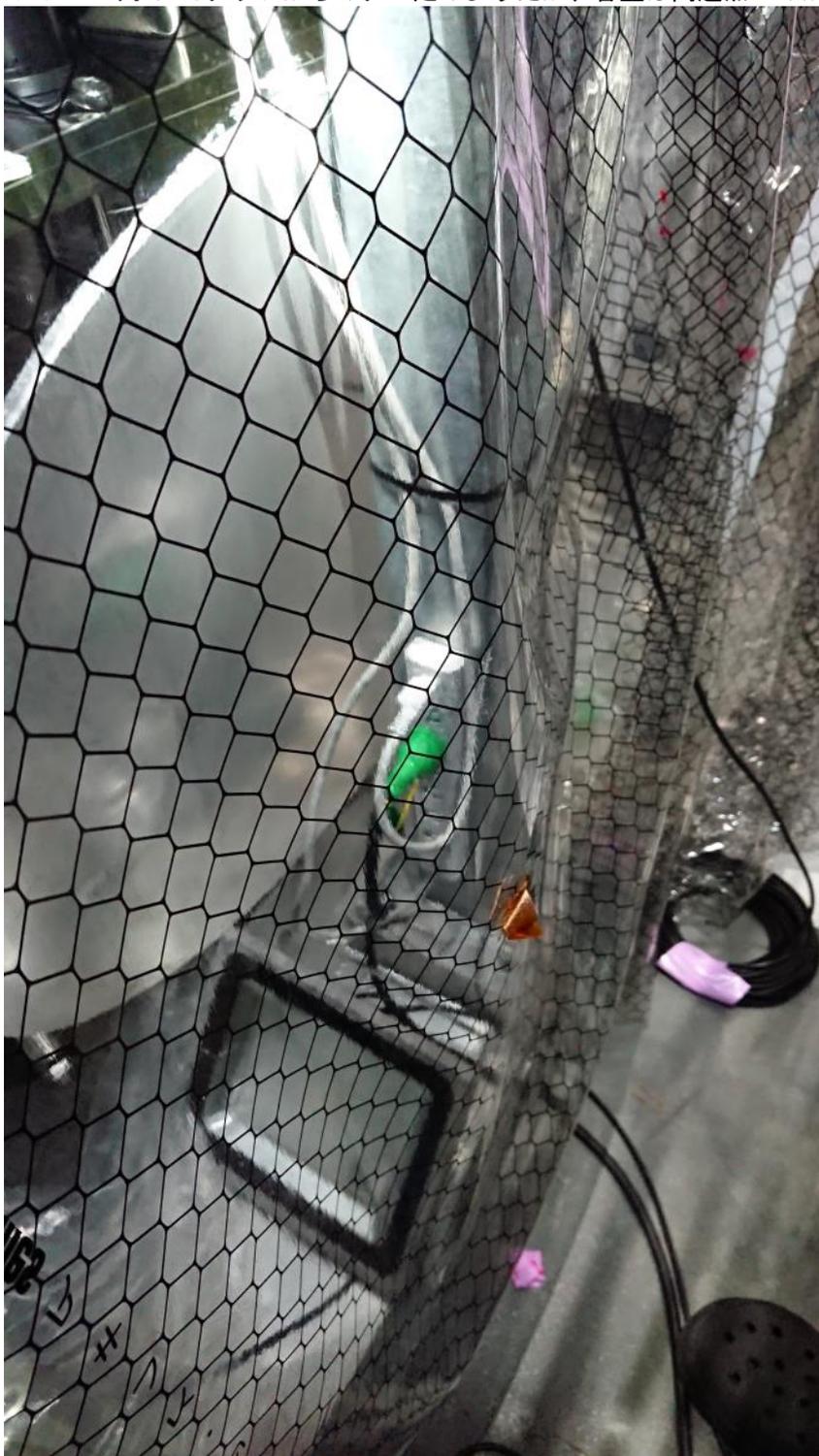


- Rack両サイド



- ケーブル同士の接続は避けられないのか？

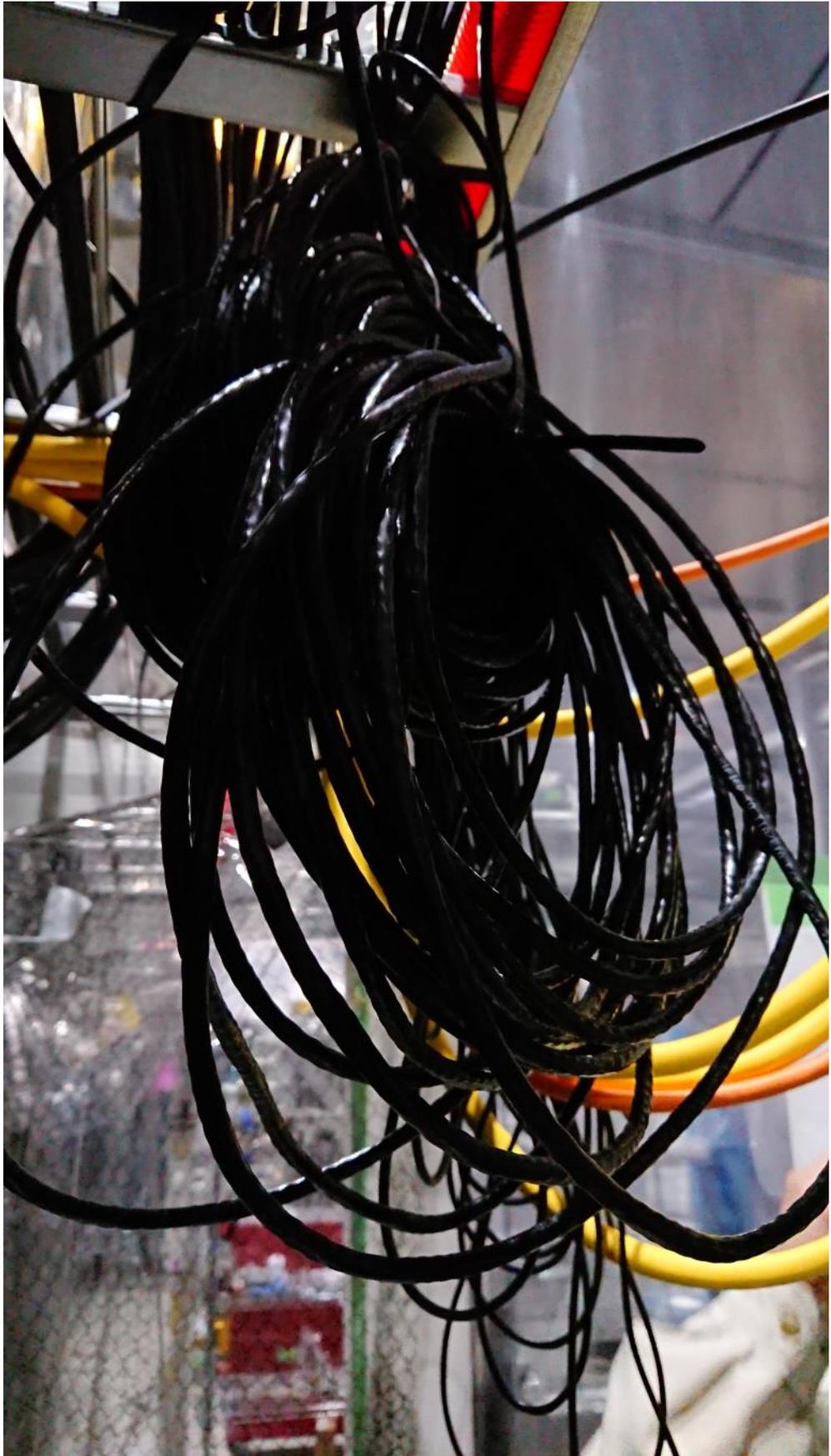
- ACタップのケーブルが伸ばしきれていない。
- クリーンブース内のACタップからのタコ足のようだが、容量は問題無いのか？



- Rack下



- ケーブルも床に直には置かない方が良い。
- その他



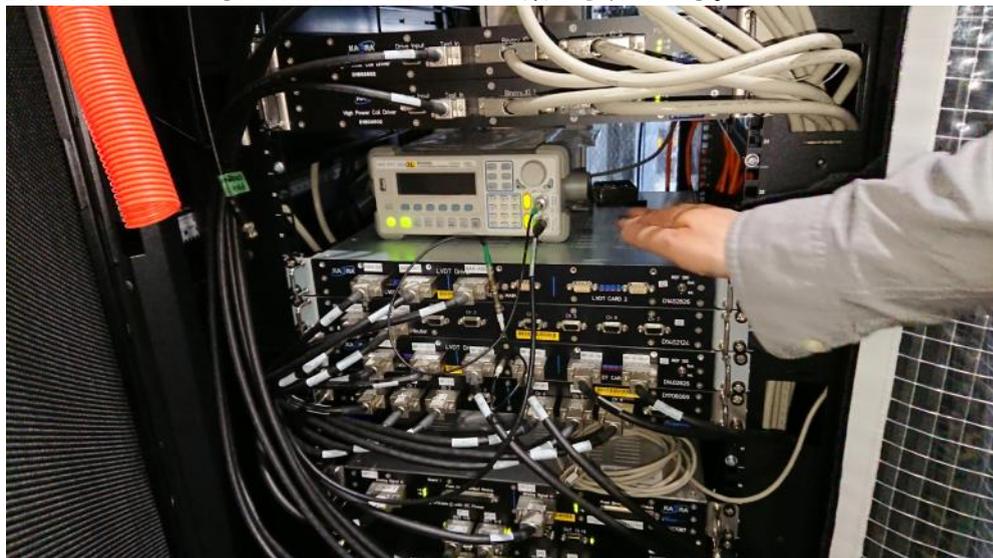
- ケーブルを丸く束ねてラックにぶら下げてある。
  - 頭やrackの扉が引かかるのでケーブルラックに乗せるべき。
  - Noiseを拾いやすくなるので、noiseにsensitiveな信号なら束ねるのをやめるべき。

## PR2 Rack

- Timing用module (Timing Master Fanout)の12V電源が(使われていない)Binary I/O Converterのchassisの上に乗せられている。



- Chassisの下にレールが設置されているわけではない。
- 既に後方が下がってきており、ミミが変形しているよう。
- Chassisの上に物は乗せず、トレーをラックに設置してそこに置くようにすべき。
- その下のLVDT Driverの上にもFunction Generatorが乗せられている。



- Oscillator Boardが実装されればfunction generatorも必要なくなると思われる。
- それほど重くはないが、chassisの上に物を乗せるべきではない。
  - 通風孔を塞ぎ、発熱の要因にもなりうる。
- 電源用Dsubケーブル



- タップにつながれた電源Dsubケーブルがむき出しのまま垂れ下がっている。
  - ショートする恐れがあるので、タップ側を抜くか、一時的にこうしておく必要があるなら電圧のかかっているコネクタを養生すべき。

## SR?

- 2階部分



- 2階にはrackは置かない?
- Stepper Motor Driverに18Vを供給しているようだが、良いのか?